

教科	芸術科（郷土の音楽）1年	単位数	4単位	学科・コース・学年・組	普通科・郷土文化コース・1年3組
使用教科書	琉球古典音楽安富祖流工工四・琉球箏曲工工四				
副教材等	五線譜による沖縄の民謡・宮良長包作曲集・コーラスでうたうちな一子どもうた				

1 学習の到達目標

- 1 郷土の音楽を愛好し、郷土や郷土の音楽に対する興味・関心を高める。
- 2 感性が高まり、郷土の音楽のよさや美しさを感じ取って、創造的な音楽活動の工夫ができる。
- 3 自己のイメージを表現するための技能を身に付け、それを生かして創造的に表現することができる。
- 4 多様な郷土の音楽に対する理解が深まり、創造的に鑑賞することができる。

月	題材名	教材名	学習活動	評価方法 等
4	三線音楽の基本 ①発声 ②楽器の特徴 ③詩形の特徴	早口説・道輪口説・ 安波節・祝節・ めでたい節	・三線音楽独特の発 声法について学ぶ ・三線の起源と特徴 を学ぶ ・詩形の種類と背景 について学ぶ	・実技テスト ・観察、聴取
5	沖縄の歌声	安里屋ゆんた ちんぬくじゅうしい 月桃の花	・正確なリズムと音 程で歌う ・腹式呼吸による発 声で歌う ・ハーモニーを感じ ながら合唱する	・実技テスト ・観察、聴取 ・プリント
6・7	箏・三線合奏	瀧落菅攪 地菅攪 江戸菅攪	・琉球箏曲の音楽構 造を学ぶ ・三線との関係につ いて学ぶ ・正確なリズムで合 奏する	・実技テスト ・観察、聴取
9・10	古典音楽	かぎやで風節 恩納節	・古典音楽の特徴に ついて学ぶ ・歌詞の特徴につい て学ぶ	・実技テスト ・観察、聴取
11	舞踊地方	祝賀の舞 秋の踊り	・踊り手の呼吸を感 じ取って伴奏する	・実技テスト ・観察、聴取
12	器楽曲	新北	・楽器それぞれの音 色や特徴を感じ取り ながら合奏する。 ・声部の役割を感受	・観察、聴取

			して合奏する	
1～3	創作曲	南風原めぐり	・楽器の音色や、琉球音階の特徴を生かして音楽をつくる。	

評価は次の4つの観点から行う。

関心・意欲・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞の能力
郷土の音楽を愛好し、音や音楽に関心を持ち、意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り創造的な音楽活動の工夫をする。	自己のイメージをもち創造的な表現をするための技能を身に付けている。	多様な音楽を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わう。
授業態度 学習の取り組み状況 (観察・聴取) 学習プリントの作成	学習の取り組み状況 (観察・聴取)	実技課題進捗状況 学習の取り組み状況 (観察・聴取) 創作曲	学習プリント 定期考査
評価は、学習の取り組み状況（観察・聴取）、実技課題進捗状況、学習プリント、期末考査、授業態度を総合的に判断して決定します。			